

## 都道府県名：宮城県 団体名：化女沼2000本桜の会

### 地域

本会が活動している化女沼は、宮城県の中央部に位置する大崎市古川の北部にあり、元々自然湖で農業用水の水源でしたが、洪水調節と農業用水の安定確保を目的に、平成8年(1996年)3月に流域面積9.93km<sup>2</sup>の「化女沼ダム」が完成、周辺は自然豊かなダム公園として整備されている。

### 経緯

西暦2000年を記念し、化女沼周辺を県内外に誇れる桜の名所にしようと1999年4月に「2000年に2000本の桜を植える会」を発足、翌年(2000年)4月に本会名称に改称し、ダム湖畔や周辺丘陵地に市民の手によって、桜の木の維持管理と植栽周辺の清掃活動に取り組み、これまでに2,700本の桜を植栽した。

### 功績内容

本会の理念は1本の桜を共に植えることで人々の心の触れ合いと温かい人間関係を築き、夢のある社会を創り、桜の生長を見守りながら実践活動を通して、環境保全と自然との共存という心の教育と人間形成を目指し、社会貢献活動の盛り上がりにも寄与することである。

活動は、4万坪以上の桜の植栽地の支障木の処理や下草刈りなどの「環境整備」と病虫害駆除の消毒や下枝おろしなどの「維持管理」、ゴミ拾いや不法投棄物の撤去などの「環境美化活動」を通して自然と触れ合いながら環境保全に取り組み、市民の郷土愛の醸成並びに自然愛の養成と人間性の育成に努めている。

2011年の東日本大震災以後は「化女沼の桜で未来の子供たちに夢と希望を！」の理念のもと、『心の復興3ヶ年計画』の一環として、2012年に「鎮魂の桜」60本、2013年に「希望の桜」100本、2014年に「夢の桜」50本を植樹した。

併せて、地元小学校へ環境保全の必要性に関する出前授業や生徒との清掃活動を毎年実施するなど、水辺環境保全の啓蒙普及活動にも積極的に取り組み、水源地域の保全に大きく貢献している。



植栽した満開の桜と化女沼



清掃活動



植樹活動



発足15周年記念植樹式